

女性委員会通信

240
2017.9.5

東京都港区新橋六 七一 川ロビル六階
全国労働組合連絡協議会 女性委員会
TEL 〇三 五四〇三 一六五〇
FAX 〇三 五四〇三 一六五三

アベ政権の「働かせ方改革」はNO!

一括法案の提出は許さない!

きちんとした審議を求めよう!

日本にとって長時間労働削減は待ったなしの課題だ。

ジェンダー平等度が144カ国中111位という先進国とも思えない状況をもたらす要因の一つが長時間労働だ。アベ政権の掲げてきた「働き方改革」の本質がいかなるものか8月30日から始まる労働政策審議会労働条件分科会で明らかにさせてくる。

同一労働同一賃金の法案は3つの分科会が合同の同一労働同一賃金部会での審議となる。

政府は連合が7月に申入れた高度プロフェッショナル制度導入と裁量労働制の拡大に関する修正を取り込んで規制緩和と長時間労働削減という規制強化(100時間未満/月等の残業などは強化とは到底言えないが)、おまけに同一労働同一賃金関連の法案も一緒に一括して一括法案でこの臨時国会に出そうとしている。いくつもの法案を一括にして審議時間を短く通してしまおうなんてとんでもないことだ。

8月30日の労政審労働条件分科会に向け連合が11時15分から厚労省前で報告集会を開催し、分科会を終えた労働側委員たちが高度プロ法や裁量労働の拡大との一括法案に反対したことを報告した。

12時からは雇用共同アクションが集会を開催、労働弁護団の栗幹事長、過労死家族の会の寺西会長からも連帯の挨拶をつけた。

次回は9月4日午後となったが、拙速な審議はゴメンだ。

8月末から秋の臨時国会にむけて、人らしい労働・生活時間を取り戻すために一緒に頑張ろう!

国会前に「残業代ゼロ法案を許さないぞ!」「長時間労働をなくせ!」の声が響いた

8月19日(土)16時から第二議員会館前で労働弁護団呼びかけの「労働法制改悪阻止8・19国会議員前行動」が開催された。

労働弁護団初の国会前行動だという。開会16時の前からユニオンみえや静岡連帯ユニオンなど東海地方からバスで駆け付けた25名のメンバーたちが横断幕のぼりを持って集まっていた。

16時、福祉労働者として参加した総がかり行動の菱山南帆子さんのコールで集会開始、国会休会中で官邸前に向かってコールが響く。

主催者挨拶では労働弁護団幹事長栗弁護士が情勢報告。政府は労働時間と同一労働同一賃金を含めた一括法案で成立を狙っているが、一つ一つきっちり時間をかけての審議を求め、安倍政権の打倒を訴えた。



7月24日新橋SL広場で最賃アップキャンペーンの宣伝行動

全労協第29回定期大会に参加を!
日時 17年10月1日(日)14時~2日(月)12時
場所 熱海ニューフジヤホテル
多くの女性組合員の皆さん!是非ご参加をお願いします。

民進党の初鹿明博議員、小川敏夫議員、共産党の山添拓議員が連帯の挨拶があった。

参加の組合はナショナルセンターの枠を超え、いろいろなぼり旗が降り出した雨にもマケズはためいた。

返せ 生活時間プロジェクトの坏弁護士、ブラック企業被害者対策弁護団の市橋弁護士、ユニオン三重、雇用共同アクション、総がかり行動実行委員会、9条壊すな実行委員会、全日建連帯、全労金労組から決意表明があった。

特に年間960時間の過労死基準の時間外規制からも5年間外されるトラック関連労働者を組織する全日建の小谷野さんは、まだトラック労働者は死ぬというのか、ふざけるなと怒りをぶつけ、様々な闘いをすると決意を語った。

最後は菱山さんのコールで労働組合と市民は連帯しよう!、共謀しよう!、安倍政権を打倒しよう!と声が響き、総がかり行動開始5分前に終了した。

総がかり行動への参加者も含めて2千名が参加した。

続く総がかり行動の集会は雷鳴とどろく中2400名の参加で貫徹した。



8月30日、労働政策審議会緊急要請~厚労省前

JALマタハラ裁判勝利和解!

8月26日JALマタハラ裁判の勝利判決報告集会があった。当該の神野さんは妊娠時に地上勤務を求めたが会社は認めず、無給休職を命じた。社宅に入っていれば出なくてはならないそうだし、出産にはお金がかかるのに無給の休職を命じるなどまさにマタニティハラスメントそのものだ。

JALはキャビンクルーユニオン(CCU)の交渉でも態度を変えず裁判となった。裁判中は公正な判決を求める署名が取生まれ、裁判所への要請行動にも参加してきた。

結果、判決日を指定後に和解で解決となったが、その内容は以下の通りである。

妊娠時に希望者全員を産前地上勤務につける。8時から5時間の選択ができるようにする。組合への情報開示と制度について団交の協議事項とする等。

神野さんの和解の結果はすでに職場に反映され、他組合の女性たちからも喜ばれているという。勝利報告集会には子供たちも走り回り、CCUの仲間や支援のメンバーが120名も集まり、次は不当解雇の解決を勝ち取るうと楽しいひと時となった。(柚木)

フジビ争議・組合 提訴の損害賠償事件

控訴審が1回で結審!



8月30日、1回控訴審・結審に対して抗議(東京高裁前)

8月30日午後13時半から組合提訴事件控訴審があった。組合側は新たな主張と証拠、田中一族の証人申請も出して、実質的な審理を求めたが、東京高

裁は1回で結審し判決を11月1日13時15分に指定した。フジビ分会と支援の仲間は早速裁判所前で不当な結審に抗議の声を上げた。

追悼 小川美智子様

御冥福をお祈り申し上げます。



女性委員会で長い間、一緒に活動されてきた小川美智子さんが8月11日に亡くなりました。享年59歳でした。哀悼と感謝の思いを贈ります。

私の中での印象は、優しい笑顔と心遣いで、後方から支えてくれる素敵な女性です。また、先輩ですが、おちゃめな一面を感じることもありました。これからも一緒に活動できると思っていたので、とても残念です。いろいろとお世話になり、ありがとうございました。ゆっくりお休みください。

(全水道東水労 橋田泰代)

小川美智子さんありがとうございました。忘れられない小川さんからの一言は、東京全労協合宿で隣に座られ『中原さん女性委員会に来て欲しいなあ』と話されたことです。フジビに近い西日暮里の国労東京地本の書記となられたから、大変お世話になりました。小川美智子さんの志を胸に一緒に歩んで参ります。

(東京労組フジビ分会 中原純子)

1989年12月の全労協発足から書記局として国鉄闘争はもちろん様々な争議団を励ましながら全労協運動を支えてきた小川ちゃん。翌年秋の女性委員会の立ち上げに尽力され、幹事として通信の発行(当時はまだパソコンを誰でも持てる時代ではなかった!)や財政を担当してくれました。女性委員会の呼び掛けで広島、沖縄、韓国、福島にも交流ツアーに行きましたね。韓国ではロッセホテルの争議中で大宴会場に籠城する組合員たちの前でアピールし歌をうたったことも思い出です。小川ちゃんといえば、あの女子高生のようなスタイル、それがいくつになっても似合っていました。最後に会ったのは7月14日、その週末には退院と聞いて病室をのぞくと少ししぼんだけれどいつもの小川ちゃんがベットに腰掛けていました。小一時間も話し「長生きしたいからいろいろ治療する」と言っていたのに。。。1年半の闘病お疲れ様! 安らかに。(昭和シェル労組 柚木康子)

いろいろなアピールの場で、全労協で、女性委員会で、いつも小川ちゃんがクリクリした大きな眸で迎えてくれました。ごはんが好きで、ビールも好きで、会議の後で一緒に飲みましたね。トレードマークの小川ちゃんスタイル、でも韓国に行った時の花柄ロングのワンピース姿も新鮮でした。一時退院の時には女性委員会にも参加され、前向きな姿勢に教えられました。一回りも年の離れた妹のような歳なのに、お姉さんのような時もあった小川ちゃん、暫くのお別れです。また飲みましょうね。(ス労 竹内勝子)

国労運動、全労協女性委員会での運動と、長く一緒に活動を共にしてきました。年齢の近い私にとっては、いつも支えてくれる大事な友であり、同士でもありました。病状の変化には気が付いていましたが、「長生きしたいから、治療頑張るんだ」にあなたならきっと頑張れると思っていました。最後のメールのやり取りから2週間、早すぎです。もっと話したかった、もっと力になりたかった。でも最後まで頑張ったんだよね。お疲れさまでした、安らかに。(国労 加藤照代)

全労協女性委員会発足から長年女性委員会の活動を支えてこられた。とても感謝しております。闘病生活からあまりにも早く逝ってしまっ、話すことやりたいことはもっといっぱいあった事でしょう。とても残念です。黄泉の国から語り掛けてください。合掌

近藤美恵子

女性委員会で話して食べて飲んで笑って、いつも勇気づけられました。もっと話したかったですし、もっと笑い合いたかったです。短い間でしたが本当にありがとうございました。

(全国一般三多摩労組 渡辺香織)